

# 神戸新聞NEXT

🕒 2016/10/19 15:30 神戸新聞NEXT

## 姫路の秋は髪もお祭り騒ぎ 若い練り子が思い表現



目立つカットにする若者らでにぎわう姫路市の美容院 = 姫路市市之郷町 4

🔍 拡大



バリカンアートで施された祭りをアピールする髪形  
(PALIO提供)

⊕ 拡大



バリカンアートで施された祭りをアピールする髪形  
(PALIO提供)

⊕ 拡大



バリカンアートで施された祭り  
をアピールする髪形  
(PALIO提供)

⊕ 拡大

秋祭り真っ盛りの兵庫県姫路市で、美容院などが混み合っている。派手な染色やバリカンアートで個性的な髪形を演出し、屋台練りで目立ちたいと希望する若者らが後を絶たないためだ。地区のシンボルカラーに染め、地元色をア

ピールする練り子も。美容師らは「年末や成人式前に匹敵するかき入れ時」と仕事に追われている。（西竹唯太郎）

## 姫路市市之郷町4の美容院

「PALIO（パーリオ）」は毎年、カレンダーに秋祭りの日程を書き込んでいる。

「日程を把握していないと、従業員のシフトを組めないほど客が来る」と同店の福嶋一樹代表（30）。9月中旬から今月中旬の1カ月間は、客が1日平均で約10人増え、売り上げは100万円以上伸びる。

「姫路ではこの時期、忙しいのは当たり前」と説明するのは、JR姫路駅前の

「GRENADE（グレネイド）」の従業員。9月中旬以降、客足が大幅に増えた。祭り時期の客層は10～20代が中心で、髪形を屋台飾りの紋の形にしたり、地区のシンボルカラーに

染めたりするという。

14、15日に松原八幡神社（同市白浜町）で行われた播州を代表する「灘のけんか祭り」。地区の屋台練りに参加した会社員の男性（25）は地区のカラー赤色に染めた。

「祭りへの思いを目に見える形でアピールしたかった。会社勤めなので終わったら黒に戻す」と話した。

21、22日には県重要無形民俗文化財の魚吹（うすき）八幡神社（同市網干区宮内）の秋季例祭があるなど、秋祭りは11月上旬まで続く。

同市内の祭りで地区役員を務める男性（52）は「祭りを大切にすることを独特な髪形で表現しているのだろう」と温かい目で見守る。

通常、美容院の繁忙期は入学や入社時の3月と夏休み前の7月、年末とされる。神戸市内のある美容師は「祭りだからと髪形を変える客は神戸ではあまり見ない」と冷ややかに話した。